

上海便を歓迎 期間限定で運航再開



上海便運航再開記念セレモニーの様子

1月18日（土）、県等とともに花巻空港国際航空歓迎実行委員会が、約5年ぶりとなる中國東方航空による上海便の運航再開（期間限定）を記念し、いわて花巻空港で歓迎行事を実施しました。

お出迎えでは、簡体字で「歓迎光臨岩手県」と記された横断幕を掲げ、ノベルティグッズ等の配布やご当地ゆるキャラによるおもてなしを行い、賑やかに歓迎しました。

県主催により、岩手・中国の関係者出席のもと記念セレモニーが開催された後、上海からの乗客123名を実行委員会会員がお出迎えしました。

7日・8日は、台北市内の会場で岩手県もブースを出展し、観光案内、パンフレット配布、アンケート等を実施し



商談会の様子



岩手県ブースの様子

当協会から県に要望を行つた教育旅行受入施設に対する負担軽減のための補助の要望を行い、県の補正予算において「教育旅行受入施設緊急対策事業」が予算化されました。当協会では、本事業の申請等の業務を県から受託しています。支給対象事業者は、旅館業

法に定める旅館営業、ホテル営業簡易宿所を行う施設です。支給対象事業は、文部科学省が定める学習指導要領に基づき「遠足・集団宿泊的行事」又は「旅行・集団宿泊的行事」として行われる活動に伴う宿泊であり、支援金額は一人泊当たり千円を乗じた額とされています。（詳細は県HPをご覧ください。）

物価高騰による価格転嫁が困難な教育旅行の受け入れに伴う負担を軽減

岩手県観光協会だより 教育旅行受入施設支援緊急対策事業実施中

■編集・発行
(公財) 岩手県
観光協会
■発行責任者
鎌田 徳幸

いわて冬旅 CP 2025

首都圏キャラバンに協力



川越駅でのキャラバンの様子

いわて観光キャンペーン推進協議会では、1月から3月までの3か月間、岩手県の冬季観光誘客促進目的に「いわて冬旅キャンペーン2025」を開催されています。同キャンペーントを広くPRするため、1月10日（金）から12月（日）まで首都圏にて観光キャラバンを実施し、当協会も協力しました。

キャラバンでは首都圏メディアを訪問したほか、JR東日本主要駅である川越駅及び新宿駅でパンフレットやノベルティを配布しました。キャラバンには当協会のほか、沿岸の団体も協力し、同団体の職員が扮した北限の海女や「なもみ」が道行く人から好評を得ていました。

会場に県内関係者とともに参加し、台湾の学校関係者への情報提供のほか、意見交換を行いました。

6日には、今回から新たに設けられた台湾教育旅行の商談会に県内関係者とともに参加し、台湾の学校関係者への情報提供のほか、意見交換を行いました。

12月6日（金）～8日（日）、東北観光推進機構が主催する台湾での「日本東北遊楽日」に県等とともに参加しました。

6日には、今回から新たに設けられた台湾教育旅行の商談会に県内関係者とともに参加し、台湾の学校関係者への情報提供のほか、意見交換を行いました。

たほか、会場内では、現地の来場者と盛岡さんさ踊りが共演するなど、台湾の皆様に岩手の魅力を発信しました。

会場全体の来場者数は2時間で9・5万人を超え、岩手県ブースも大いに賑わいました。

令和6年度第2回岩手県内DMO連絡調整会議開催

「おもり・いわて産業市」
埼玉・大宮駅に参加

喜び家アドバイザーによる
「観光地域づくり」のアド

12月6日（金）、サンゼール盛岡で第2回岩手県内DMO連絡調整会議を開催しました。第1回目は今年6月に開催し、県内DMOの取組等について情報共有を行つたところです。第2回目の今回は、この度初めて、個別テーマに沿つた専門分科会も開催し、DMO間の連携も見据えて、意見交換を行いました。

会議には、当協会を含め、観光庁に登録された10のDMOと独自に組織した1団体の合わせて11のDMOと、20の市町村、観光協会がオブザーバー参加しました。

全体会議では、観光庁観光戦略課の河田敦弥課長より「日本の観光の動向」、日本政府観光局（JNTO）の茅野慎吾氏より「フランスで組んでいる持続可能な観光」について、意見交換を行いました。

当日は、令和6年度事業実施状況や、令和7年度事業計画案などが議題とされました。

令和6年度教育旅行誘致宣言部会第2回が2月4日（火）に開催されました。

部会第2回幹事会開催について、基調講演をいたたきました。また、昨年9月24日付けで新たに登録DMOして登録された（一社）大船渡地域戦略様と（一社）しずくいし観光協会様からそれぞれご挨拶をいただきました。DMO専門分科会では参加者の皆様に「高付加価値コンテンツの提供へ向けたローカルガイド活用」、「いわての食とツーリズム」、「データを活用したDMOの戦略設計」、「みちのく潮風トレイルを活用した地域づくり」の4つのテーマから2テーマを選択いただき、テーマに沿って意見交換を行いました。

会議終了後のアンケートでは、今回の会議形式については満足43%、やや満足54%の回答をいただき、各分科会についても多数の方に

有意義たつたとの回答をいただきました。専門分科会は今回初の試みでしたが、他の団体の取組状況等を知る良い機会となつたなら幸いです。なお、令和7年度も引き続き会議の開催を予定しています。ご意見やご要望ございましたら、当協会までご連絡ください。



DMO 専門分科会の様子

宮駅で開催された「おもり・いわて産直市」に県等とともに参加しました。

県内食産業事業者が
出店したほか、観光
P R ブースにて、
冬旅キャンペーンの
P R や J R 釜石
線周辺市町村の観光パンフレットの配布等を行いました。

また、「そばつち」が
青森県の「いくべえ」と一緒にグリーティングを実施。多くのお客様が足を止め写真撮影を行ったほか、そばつちのぬいぐるみストラップを手に会いに来てくれたお客様もあり、会場は盛り上がりまし

増加傾向にあります。一方で、日本国内の来訪者受入側となる地域では、人手不足や物価高騰等の影響を受け、多くの課題が散見されています。

最近は、「レスポンシブル・ツーリズム（責任ある観光）」という旅の姿に注目しています。旅行者自身が、旅行先の地域コミュニティや環境に与える影響に責任をもち、旅行先に配慮する考え方です。また、旅先で自分が経験したことや行動変容が起きることも期待されています。

ここで重要なのが、来訪者に対して地域の歴史・文化を紐解き、皆さんにが日々大切にしていることを丁寧にお伝えすることです。地域の深いストーリーに触れ、そのストーリーに参加してみたいというニーズが、新たな旅の形になっています。

岩手は知れば知るほど魅力あふれる地域ですが、失ってはいけない歴史・文化をどのように未来へ繋ぐことができるか悩ましい状況にもあると日々感じています。旅は、来訪者へ地域を伝え、共感を生み、行動を変えられる手段となるもの。この旅のチカラを活用していくためにも、来訪者の視点を入れながら、ストーリーの伝え方を変化させることも大切です。

（岩手県観光協会専門家アドバイザー
一畠山美帆（株）JTB）

研修動画公開

「おもてなし研修インバウンド英語編」

欧米豪等外国人観光客の対応を学ぶ「おもてなし研修インバウンド英語編」の研修動画・テキストを作成しました。ホームページ「いわての旅」の「賛助会員のお寄せ」から視聴・閲覧できます。(2025年1月8日賛助会員限定で公開中)
<https://iwatetabi.jp/>
 supportmembers/
 みちのく潮風トレインの観光ガイドとしても活動している講師で、米国出身のウイリアム・クインラン・フェリス氏の講演は必見です。
 皆様の都合の良い時に、学ぶことができますので、是非受講ください。

令和6年度 おもてなし研修 インバウンド英語編

Inbound Promoter / Guide
Quinlan Farley

英語編のオープニング画像

また、「おもてなし研修台湾編」(2023年4月27日公開)、「おもてなし研修中国編」(2023年10月4日公開)の研修動画も公開しておりますので、ご活用願います。

沿岸地域への冬期間における観光客誘致拡大を図るため、三陸海岸魚彩王国実行委員会と連携し、3月11日(火)～13日(木)、(株)阪急交通社3名、クラブツーリズム(株)3名の担当者を招待し、沿岸の観光地や観光施設の視察を行いました。三日間にわたり、久慈市から陸前高田市まで、途中、三陸鉄道の乗車もしつつ、観光施設等を視察し、宮古市の「グリーンピア三陸花みやこ」と大槌町の「三陸花ホテルはまぎく」では地域の観光関係者との意見交換

HIGH HILL 沿岸地域誘客促進タクシードライバーセミナー

会を行いました。



田老の学ぶ防災ガイド視察の様子



意見交換会の様子

各旅行代理店の担当者の反応も良好で、今後の旅行商品造成に向けて積極的な対応が期待されます。

韓国チヤーター便を歓迎

3月20日(木・祝)に花巻空港国際航空歓迎実行委員会が、今年度2回目となる韓国チヤーター便運航を記念し、いわて花巻空港で歓迎行事を実施しました。

韓国青洲からの乗客約60名(航空会社エアロK)には、ハングルの横断幕を掲げ、ノベルティグッズ等配布やご当地ゆるキャラによるお出迎えを行い、搭乗客と写真撮影するなど、賑やかに歓迎しました。



歓迎対応の様子

なお、同日のいわて花巻空港発韓国青洲行には、約150人が搭乗し、岩手から韓国に飛び立ちました。

「みちのくトレインクラブ」と意見交換

2月12日(水)、第2回岩手県内DMO連絡調整会議の、みちのく潮風トレイン分科会での議論を踏まえ、県等とともに、宮城県名取市の名取トレインセンターを訪問し、4県にまたがるみちのく潮風トレインの運営を行う認定NPO法人みちのくトレインクラブとの意見交換を行いました。

分科会で提起された各地域間での統一感については、みちのくトレインクラブ側から「タペストリーの掲出やトレインエンジエル等の呼称など、各地域で独自に行っている活動について

では、統一感を出すことよりも、地域ごとに違いがある」ともひとつ面白さではないかと感じている。これまで統一されていなくともハイカーとも特に分かりにくいくらいといった声はない。ロングトレインという文化は、地域の人たちがそれぞれハイカーに関わっていくことが、持続可能性を高めると思う。」との御意見をみちのくトレインクラブの相澤久美(あいざわくみ)事務局長などから頂きました。



司法修習生が選択実務実習を履修

11月から12月にかけて司法修習生の研修を受け入れました。将来、弁護士を目指されている女性で（盛岡市内の弁護士事務所にて研修中）民間での5日間の研修が必要のことから、岩手県観光協会を研修先として選ばれたものです。当協会を希望した理由は、インバウンドが増加の一途を辿る中で、旅行の安全確保や日常的に発生する法律問題等への対応について学ぶため、将来は観光業に密接に関わる業務に携わりたいとのこと。また、そばつちの大ファンでもあったそうでした。



第2回賛助会員全員
協議会の様子

3月7日、サンセール盛岡を会場に、賛助会員・役員合わせて約60名のご出席をいたき、第2回賛助会員全員協議会が開催されました。また、3月18日には第5回理事会が開催され、令和7年度事業計画・収支予算について説明し、承認いただきました。

なあ、ホームページ「いわての旅」の「賛助会員のお知らせ」に全員協議会議案書等配付資料を掲載しております。

現場における生の声を聞いてもらいたく、観光客が多く訪れる「いわて・盛岡広域観光センター」、観光部等を訪問しての意見交換や、季節感あふれる観光素材の取材・SNSでの発信等にも取り組んでもらいました。修習生からは、とても多くのことを学べた、との感想をいただきました。当協会としても、観光業と司法機関との関わりを考えるよい機会となりました。

第2回賛助会員全員 協議会開催報告

(2025年3月4日賛助会員限定で公開中)
<https://iwatetabi.jp/supportmembers>

新規用語訳解説 の紹介

めでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

【山岸さん】

☆賛助会員募集

当協会では、広く賛助会員を募集しています。会員の特典としては、①「会員の皆様の情報を協会ホームページにおいて優先的に紹介、PR」、②「協会作成の観光資料を無料で提供」、③「協会主催の研修会、セミナー及びキャンペーン等への参加」、④「国や県及び各種観光団体等からの各種情報の提供」、⑤「当協会における協賛及び後援や各種相談」などがあります。

1月27日付で、新採用嘱託職員として高橋志穂(たかはししほ)さんが、派遣臨時職員として山岸美智子(やまぎしみちこ)さんが当協会に加わりました。高橋さんは、主に観光案内相談を担当し、山岸さんは教育旅行受入施設支援緊急対策事業を担当します。二人から賛助会員の皆様に御挨拶です。

【高橋さん】

毎日様々なお問合せをいたしておりますが、岩手の魅力をもつとお伝えできるように、観光の知識を深



左：高橋さん右：山岸さん

大船渡市内の官民で構成する「キヤッセンエリアアプラットフォーム」によるスマホゲーム防災×観光アドベンチャー「あの日」制作及び防災学習プログラムの開発が、総務省消防庁第29回「防災まちづくり大賞」において、最優秀賞にあたる総務大臣賞を受賞しました。



表彰式の様子

大船渡「キヤッセン・ニア・ア・プラットフォーム」 防災まちづくり大賞総務大臣賞受賞

同団体は、今回の受賞を励みに、防災学習プログラムの普及啓発に務め、東日本大震災による津波の記憶がない次

◆会員区分
市町村は第一種賛助会員、市町村観光協会は第二種賛助会員、その他の団体及び事業者は第三種賛助会員となります。

◆会員区分
市町村は第一種賛助会員、市町村観光協会は第二種賛助会員、その他の団体及び事業者は第三種賛助会員となります。

◆会員区分
第三種賛助会員 5口5万円を原則として口数制で算出します。※口数については、事業者種別・規模等に応じて別途算出します。

◆入会についてのお問合せ
当協会まで御連絡願います。

電話 .. 019-651-062